

第1回福島県女性消防吏員座談会を開催しました

郡山地方広域消防組合消防本部

当消防本部では、6月25日（月）、消防分野における女性の活躍促進を図るにあたり、職場環境の現状と課題を把握し、協議するため、消防庁委託事業として福島県内の女性消防吏員を一堂に会する座談会を開催しました。

第1回のこの日は、県内8消防本部から25名の女性消防吏員が参加し、活発な意見交換を行いました。



水難救助合同訓練を実施

海老名市消防本部

平成30年5月29日（火）、一級河川（相模川）を管轄する海老名市・座間市・厚木市の消防本部は、鮎漁の解禁や夏の行楽シーズンを前に海老名市社家の相模大堰付近で水難救助合同訓練を実施しました。

5人が乗った乗用車が川に転落し、2人が川で溺れ3人が車内に取り残されているとの想定。

本訓練には、約60名が参加し、訓練を通じて各消防本部と連携した水中検索などを実施し、指揮命令系統の確認を行うとともに、水難救助技術の向上及び連携強化を図りました。



消防通信 望楼 ぼうろう

ドクターヘリの受け入れや患者の搬送法、戸島で運用訓練、連携確認を実施

宇和島地区広域事務組合消防本部

宇和島地区広域事務組合消防本部では、平成30年6月25日（月）、離島部での愛媛県ドクターヘリコプターの安全運航に向け、宇和島市戸島の戸島小学校ランデブーポイント（離着陸場）で運用訓練を実施しました。

訓練は、同校の男性教員が授業中に倒れ意識を失ったと想定したもので、同本部通信指令室がドクターヘリ出動を要請し、本部から連絡を受けた市消防団宇和島方面隊戸島分団員が患者を担架に乗せて同校運動場に運び、医師らと連携しながらストレッチャーで機内に収容しました。

ドクターヘリの活用が救命率向上につながるので、救急車や消防署員が行けない離島部などでは消防団員と協力し合い、定期訓練をして周知に努めます。



高知県・愛媛県ドクターヘリ相互応援協定による搬送訓練

高吾北広域町村事務組合消防本部

平成30年6月1日、高知県仁淀川町大渡ダム離着陸場において、標記の訓練が実施されました。高知県側のドクターヘリ等が不在の為、相互応援協定により愛媛県ドクターヘリを要請し、高知医療センターへ搬送する訓練でした。

高吾北消防本部管内は広範で山間地域が多く厳しい地理的条件下の中、高齢化に伴う救急搬送の増加や医療機関への搬送も遠距離のため、ヘリの機動性を最大限に活用し「救えるはずの命を守るため」、職員一同想いを一つにして取り組んでいます。今回の協定により搬送手段の選択肢が増え、傷病者を一刻も早く医師の元へという願いがまた一つ叶うことになり、今後も連携体制の強化や訓練を実施し、救急や災害に強い地域にしていきたいです。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。
ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】